



4月の園だより

太陽の子保育園 2022年4月号

桜の花も咲き始め、太陽の子保育園の一年がスタートしました。今年度も保育目標である「丈夫な身体と豊かな心を育てる」を合い言葉に、子ども達一人ひとりに寄り添いながら保育をしていきたいと思っています。

新入園のお子さんは新しい環境でとまどいがあると思いますが、一日でも早く保育園が安心できる場所となるよう、保育者との信頼関係を築いていきたいと思っています。在園児のお子さんも「ひとつ上のクラスになった」という思いで少し頑張りすぎてしまい、疲れがでたり、不安定になったりすることがあります。そのような子ども達の気持ちをしっかりと受け止め、進級が成長につながるよう、しっかりと保育をしていきたいと思っています。そのためにも、ご家庭と保育園が連携をとっていくことが大切ですので、お子さんに変化等が見られましたら遠慮なく職員にお伝えいただければと思います。



お子たちが安心して楽しい保育園生活を送れますように、下記のことに配慮していただきますようお願いいたします。

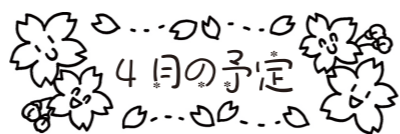
- ◎早寝早起き、朝食をとる、排便をするなど、良い生活習慣を身につけましょう。
- ◎持ち物には、すべて名前をご記入ください。
- ◎動きやすい服装・靴にしましょう。
 - ・ひっかかりが少ない服
 - ・体や足のサイズに合ったもの

毎朝必ず健康観察をお願いします

子どもたちは新しい環境や緊張のため、疲れが出やすくなります。普段と様子が違う場合、登園時に声をかけてください。

【ポイント】

- 1 睡眠……………睡眠は十分ですか？
機嫌は良いですか？
- 2 顔色、食欲……………顔色は良いですか？
ご飯はいつもと変わらないですか？
- 3 肌のようす……………ブツブツが出ていませんか？
- 4 全体……………だるそうにいませんか？
下痢、便秘をしていませんか？



4月の予定

- 4(月) 調理保育(らいおん)
- 14(木) 音楽指導(幼児)
- 15(金) チューリップ畑(くま・らいおん)
- 18~22 身体測定
- 19(火) 体育指導(幼児)
- 22(金) 職員会議
- 27(水) 避難訓練
- 27(水) 春の健診(乳児)
- 28(木) こどもの日(誕生会)

5月の予定

- 9~13 身体測定
- 12(木) 音楽指導(幼児)
- 13(金) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 17(火) 保育参加・懇談会(くま)
- 18(水) 春の健診(幼児)
- 19(木) 避難訓練
- 20(金) 調理保育(くま)
- 23(月) 体育指導(幼児)
- 23(月) 職員園内研修
- 23~27 職場体験(羽2)
- 26(木) 懇談会(ひよこ)
- 27(金) お誕生日会
- 31(火) 懇談会(ぺんぎん)

玄関から入って右に見えるウエルカムボードは卒園製作で卒園児さんがつくってくれたものです。

2021年度らいおん組 保護者の皆様から紙芝居セットを卒園記念品としていただきました。大事に使わせていただきます。

ご不要になった古タオルがありましたら、保育園までお持ちいただくと助かります

昨年度、古タオル寄贈をお願いした際には多くの方よりご協力いただきありがとうございます。今回また雑巾用のタオルが足りなくなってきましたのでお願いをさせていただきます。もし不要な古タオルがありましたら担任までお渡しいただくと助かります。

想像力を育てよう

「子育て支援 ひだまり通信」高山静子著(チャイルド本社)より

人の痛みがわかる人になってほしい、優しい人になってほしい。多くの親はそう願います。そのためには、幼児期の友達とのごっこ遊びが大切です。

想像する力は幼児期に伸びます

赤ちゃんは見立てたり、つもりになって遊ぶことはできません。1歳の後半ごろから、遊びの中に想像が少しずつ生まれ、3歳を過ぎると友達とイメージを合わせてごっこ遊びをするようになります。

1歳半~4歳ごろは想像力がぐんぐん育つ時期

- ・物を何かに“見立てる”
- ・やたらに“ひとりごと”が多い
- ・何かをやっている“つもり”になる
- ・“ごっこ遊び”が大好き



これらは想像力が育っている証拠

想像力はこんな力へとつながっていきます



想像力が未発達なままだと……

- ・融通がきかない、こだわりが強い。
- ・言われたことしかできない。
- ・習ったこと、体験したこと以外はわからない。
- ・自己中心的、相手の立場で考えることが難しい。
- ・自分で遊びや楽しみをつくり出すことができない。
- ・感謝や共感の気持ちがわからない。



情報入力・そのまま出力。応用されることがない。

子どもは遊びながら想像力を伸ばします

想像力が伸びる時期の子どもは、盛んにひとりごとを言いごっこ遊びを繰り返します。人形一つで豊かに遊ぶことができるのが、この時期の子どもです。想像力が十分に伸びた子どもには、やがて知識欲の時代がやってきます。

想像力を伸ばす大人とは

- ・お友達ママ
「さあ、包丁で切りましょう」
「ケーキを食べるわね」
自分も子どもになって、いっしょに遊んじゃう。
- ・見守りママ
飽きたとき、求めてきたときに、ちょこっとアドバイス。
- ・のんびりママ
子どもの遊ぶ姿がだーい好き。
早期教育には興味なし。
ひらがなや、数、漢字などは、子どもが興味をもったときや、生活の中で自然に教えようと思っている。
(操作しにくいイメージを与えずにと、想像力の発達を妨げる場合もあります)

